

2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 リゾートトラスト株式会社
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 伏見 有貴
コード番号 4681 東証プライム市場、名証プレミアム市場
問い合わせ先 専務取締役 業務部門管掌 兼 CCO
井内 克之
電 話 052-933-6519

業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）の実施

及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月 13 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 15 日に開示した 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想及び 2025 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）の実施ならびに 2026 年 3 月期の配当予想を、下記のとおり修正することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

（1）2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	259,000	27,500	27,500	19,000	89.81
今回修正予想（B）	260,000	29,000	29,000	20,300	95.78
増 減 額（B－A）	1,000	1,500	1,500	1,300	
増 減 率（％）	0.4	5.5	5.5	6.8	
（参考）前 期 実 績 （2025 年 3 月期）	249,333	26,365	26,848	20,139	95.19

（2）修正の理由

当中間期の連結業績につきましては、2025 年 3 月に「サンクチュアリコート金沢」、6 月に「サンクチュアリコート淡路島」を発売したことにより、未開業ホテルの販売を中心に、前年同期及び期初の想定を上回る契約高実績となりました。また、メディカル事業において、ハイメディック会員の増加に伴う会費収入や一般健診事業の収益が想定を上回り、ホテルレストラン等事業においても、新規開業ホテルの収益に加え、運営管理費や利用料の価格改定により収益が向上しコスト増を吸収しました。これらの結果、リゾートトラストグループ全体として、前回公表値を上回る見込みとなり、通期業績予想を修正いたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想修正

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025 年 5 月 15 日公表)	前期実績 (2025 年 3 月期中間)
基 準 日	2025 年 9 月 30 日	同左	2024 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	17円00銭	16円00銭	27円00銭
配 当 金 の 総 額	3,635 百万円	—	2,882 百万円
効 力 発 生 日	2025 年 12 月 12 日	—	2024 年 12 月 11 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正の内容

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前 回 発 表 予 想	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 32.00
今 回 発 表 予 想			—	17.00	34.00
当 期 実 績	—	17.00			
(参考) 前 期 実 績 (2025 年 3 月期)	—	27.00	—	35.00	62.00

（注）当社は 2025 年 4 月 1 日を効力発生日として 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行いました。前期 2025 年 3 月期の配当金は株式分割前の金額を記載しております。

（3）剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想修正の理由

当期の配当予想につきましては、通期連結業績予想を上方修正した状況を踏まえ、従来予想を修正し、中間配当金・期末配当金ともに 1 株当たり 16 円から 1 円増配し、1 株当たり 17 円とさせていただきます。これにより当年度の 1 株当たり年間配当金は、中間配当金 17 円と期末配当金 17 円を合わせた 34 円となる見込みです。なお、前期の年間配当金は株式分割前で 62 円、分割後に換算すると 31 円であり、普通配当として 3 円増配と、過去最高の配当金額となる見込みであります。

今後も「会員制ビジネス」の安定成長に基づく充実した株主還元、および機動的な資本政策を実施してまいります。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上